

**事業所名** グループホーム 清和  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 6月14日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 通所介護管理者  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、社住環境コーディネーター、音楽療法トレーナー  
B:現職 介護支援専門員  
資格・経験 ホームヘルパー2級、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>○利用する全ての人にとっての「我が家」であり、入居者が安心、安全、快適な毎日が過ごせるように手伝う「家族としての職員チームである」と考え、入居者個々の人格を大切にしながら、日々努めている。</p> <p>○「みんなの我が家」を目指し、 1. 安心、安全、快適な毎日を過ごしてもらうために医療との連携を図り、入居者の健康管理に努めるほか、心身をリフレッシュし、気持ちの良い眠りのために毎日入浴をしてもらっている。また、介護のプロとしての自覚、誇り、知識を持った職員の育成に努めている。 2. 豊かな自然の中で四季を感じながら生活してもらうために菜園作りなど、日常的に戸外に出て活動したり、季節の食材を取り入れた献立作りをしている。 3. その人らしい生活を送ってもらうために一人ひとりの趣味や趣向を把握し、能力が最大限に発揮できるように援助している。 4. 人と人との触れあいを大切にするために家族や地域との交流を大切に、いつでも気軽にホームに来てもらえるような雰囲気作りを努めている。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○恵まれた自然を生かし、入居者がずっと暮らしてきた環境の中、四季の移り変わりを肌で感じ、ゆったりとした暮らしが営めるように取り組んでいる。木の温もりを感じる居室、手作りの優しさのこもった家具に囲まれ、入居者は穏やかな気持ちで一日を過ごせる。</p> <p>○ケアサービスの向上に向けて、職員の意識作りが行われている。歩行介助の仕方についてのファイルの整備、一人ひとりが主体的に生活できるよう日常の家事活動などを見守り、一人ひとりの役割、楽しみごと等を見つけて働き掛けていくなど、入居者にとって大事なことが何かを踏まえたうえで対応している。</p> <p>○掃除が行き届いており、清潔である。ホーム内には季節の花や緑が飾られ、当たり前の日常生活を送ってもらうため、職員が協働して努力している姿がうかがえる。</p> <p>○地域の人にももらった野菜や、道の駅などで購入した新鮮な野菜を利用した献立作りを行い、新鮮で美味しい野菜を食べてもらい、健康維持に努めている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることへの配慮	○	

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○吉備高原、岡山自動車道賀陽インターのすぐそばにあり、葡萄畑の間を通り抜けて行く木造の落ち着いた佇まいのホームがある。広い庭と季節の花で彩られた花壇、玄関には木で作られたベンチがある。緑豊かな自然の中、小鳥のさえずりが心地よく、自然と気持ちが良い。

○法人は、身体障害者施設を皮切りに、県内数ヶ所に介護事業を展開しており、当ホームのすぐそばにも法人の施設がある。管理者は、身体障害者施設などでの豊富な経験をもちにホームの管理・運営に当たっており、ケアサービスの質の向上に向けて力を注いでいる。

○設立して一年目ながら、地域密着型としてのグループホームの役割や、その中での入居者一人ひとりの生活を大切に受け止め、日々のケアに取り組んでいる。「一人ひとりを大切にしたい」、そのために管理者は介護のプロとしての自覚・誇り・知識を持った職員の育成に励み、計画作成担当者との協力も得て、質の高いホーム作りに取り組んでいる。

○ホームの特色としては、頻繁に外に出かけて活動する機会を多く設けている。道の駅への買い物や散歩、菜園や花壇作りの他にも、年間の行事計画として地区の祭りや文化祭、学校や保育園の発表会、花見や紅葉狩り、民謡の朗読会、足守の雛人形見学、味噌作り等々があり、しっかりとケアの基盤ができてきているからこそできることだろう。

特に改善の余地があると思われる点

○本業なら一歩目でもあり、まだまだ基盤固めを行っていくところだと思うが、土台作りがきちんとして行われており、しっかりと方針に基づいて一歩一歩着実に歩んでいる。今後も、介護のプロの育成に力を注ぎ、ケアサービスの質が高く、温かいホームを目指して取り組んでほしい。

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○食事の下ごしらえや準備、片付け、洗濯物の取り入れや洗濯物たたみなど、家事は皆で協力し、楽しく行っている。庭の花や菜園の手入れ、草取りや水遣りなども、出来る人が出来ることをやっている。</p> <p>○入居者それぞれの好きな事や趣味にも取り組んでいる。折り紙細工をする人や色鉛筆などを使って作業をする人、ちぎり紙をする人など様々で、皆で銭太鼓を練習することもある。</p> <p>○「その人らしい生活」をビジョンに掲げ、一人ひとりが今まで暮らしてきた生活の把握に努め、「その人らしさ」を大切にケアを心掛けている。お墓参りにいきたい等、できるだけ一人ひとりの希望が叶えられるよう、いつも一緒に話しながら一緒に活動をし、寄り添うケアを実践している。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>○事故報告書については、起こった状況や対応について記録に残し、職員間で検討を重ね、結果を本人、家族までフィードバックさせている。再発防止に向けて取り組んでいる姿勢が、記録にも現れている。</p> <p>○夜間急変時マニュアル、誤嚥対応マニュアルなど、充実したマニュアルが完備されている。また、一人ひとりについての重要事項申し送り簿があり、重要なことが漏れることなく確実に伝わるように確認後はサインをするようになっている。</p> <p>○医療についての情報が全職員に周知できるよう、様々な取り組みを行っており、朝昼夕の薬など、入居者の服用している薬や病状、注意点が一目でわかるように「処方薬の一覧」がある。また、高齢者がかかりやすい疾病や薬についての説明書のファイルもある。今後は、一冊のファイルで一人ひとりの医療状況がわかるものを作成する予定である。</p>		